

プログラム

大会長講演

8月23日(金) 9:10~9:50 A会場

座長：今中 国泰(首都大学東京人間健康科学研究科)

演題：「ヒト運動制御研究の成果と未来」

演者：船瀬 広三(広島大学総合科学研究科)

特別講演

8月24日(土) 10:30~11:30 A会場

座長：船瀬 広三(広島大学総合科学研究科)

演題：「新規視床下部因子によるエネルギー代謝調節
—脳と食欲・脂肪・筋肉との関係に着目して—」

演者：浮穴 和義(広島大学統合生命科学研究科)

教育講演I

8月23日(金) 14:00~15:00 A会場

座長：長谷川 博(広島大学総合科学研究科)

演題：「低酸素や暑熱環境下で行う運動に対する代謝応答」

演者：後藤 一成(立命館大学スポーツ健康科学部)

教育講演II

8月24日(土) 12:30~13:30 B会場

座長：上原 一将(生理学研究所神経ダイナミクス研究部門)

演題：「音楽家の運動神経生理学」

演者：古屋 晋一(ソニーコンピューターサイエンス研究所)

シンポジウムI

8月23日(金) 15:15~16:45 A会場

オーガナイザー：岡崎 和伸(大阪市立大学 都市健康・スポーツ研究センター)

「温熱生理学を基盤とした暑熱環境下の運動パフォーマンス向上」

S1-1 暑熱環境下の認知機能と運動パフォーマンス

芝崎 学 (奈良女子大学大学院生活環境科学科)

S1-2 暑熱馴化による腸内環境の変化と運動パフォーマンス

松生 香里 (川崎医療福祉大学)

S1-3 暑熱下運動時の身体冷却と運動パフォーマンス

鬼塚 純玲 (広島文化学園大学人間健康学部スポーツ健康福祉学科)

S1-4 暑熱下運動パフォーマンスの制限要因とそれに対する現場の取り組み

岡崎 和伸 (大阪市立大学都市健康・スポーツ研究センター)

シンポジウムII

8月23日(金) 15:15~16:45 B会場

オーガナイザー：木村 浩彰(広島大学病院リハビリテーション科)

「障がい者スポーツにおける運動生理学的知見と応用」

S2-1 障がい者スポーツ選手におけるメディカルチェックの重要性

西村 行秀 (岩手医科大学リハビリテーション医学)

S2-2 障がい者における運動時の体温調節に関する知見とスポーツ現場での応用

上條 義一郎 (和歌山県立医科大学リハビリテーション医学)

S2-3 下肢切断者における体温調節反応

福原 幸樹 (広島大学病院 診療支援部 リハビリテーション部門)

「運動と筋疲労の科学」

S3-1 全身運動時における疲労

木目 良太郎 (東京医科大学 健康増進スポーツ医学分野)

S3-2 運動後に長期にわたって継続する筋疲労のメカニズム

渡邊 大輝 (広島大学 総合科学研究科)

S3-3 運動時の疲労に及ぼす筋グリコーゲンの影響

塩瀬 圭佑 (宮崎大学 教育学部)

「運動技能向上・再獲得を担う脳内神経基盤の包括的理解」

S4-1 非侵襲的脳刺激を用いた運動技能の操作

上原 一将 (生理学研究所神経ダイナミクス研究部門)

S4-2 意欲を司る中脳辺縁系が運動と機能回復を制御する神経基盤

鈴木 迪諒 (東京都医学総合研究所 認知症・高次脳機能研究分野 脳機能再建プロジェクト)

S4-3 運動イメージを用いた運動技能向上

水口 暢章 (国立長寿医療研究センター ロボット臨床評価研究室)

ランチョンセミナー

8月23日(金) 12:15~13:00 B会場

座長：緒形 ひとみ(広島大学総合科学研究科)

演題：「筋グリコーゲンと筋パフォーマンスーその今と昔ー」

演者：和田 正信(広島大学総合科学研究科)